

清川町



ふれあいひろがる

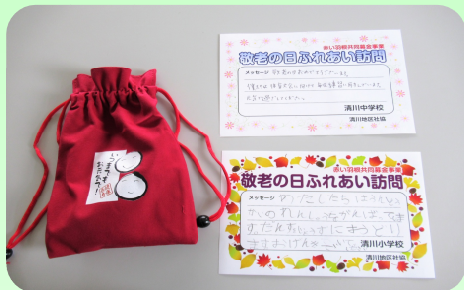
ひと時を過ごし

安否確認を...

清川地区社協

敬老の日 訪問活動

清川地区社協では、「よりそいつながろうあなたとわたし」をテーマに、町内の福祉活動に関係する団体等と連携して行事に取り組んでいます。
コロナ禍の中、密を避けようということで、今年度も『敬老の日訪問事業』を実施しました。



80歳以上の方350名を対象に、民生委員・自治委員・地区委員・福祉委員に見守りを兼ねて訪問していただきました。
長寿のお祝いに、巾着袋（中はお菓子）と、小中学生が作成した敬老の日のメッセージを添えて、お祝いの気持ちを届けました。

長寿のお祝い袋
「元気で過ごしてください」
清川っ子のメッセージに癒されます。



地域での人と人 心のふれあいを求めて...

新しいサロンができました！

中野地区

寿サロン中野

コロナ禍により、地域の行事はプツリと途絶えてしました。

盆前の集会所の掃除だけは、恒例の年中行事の番の婦人部が、ほぼ全員参加して、大掃除そして、お茶の会。久々の再会に「出会う機会がほしい」「人と話したいけんあ」「家から出らんと足腰が弱る」などなどの声。こうなるとサロンしかありません。しかし、サロン運営は重荷です。かつては、地区においてサロンが開催されていたのですが、いつのまにか休眠、中止になっていた地区。打開策として、①調理をしない②難しい役員体制はとらないことを前提に、新たに「寿サロン中野」が誕生しました。



第1回サロン開催。初めての取り組みのため、人が集まるだろうかとドキドキしていましたが、楽しい体操や歌のオンパレードで、笑い声が会場に溢れる楽しいひと時を過ごしました。皆さんの笑顔「良かったなあ」の声で終了しました。



寿サロン中野 代表
三浦えり子さん
「楽しく元気の出るサロンを目指そうと思っています。」



昨年12月に第1回を開催しました。